

御牧原の魅力 マルシェで発信

東御市御牧原の有志らでつくる「おいでなんし御牧原の会」は30日、初めてのマルシェを地元旧御牧原保育園で開く。東御、小諸、佐久市にまたがる御牧原台地の魅力を発信する取り組みの一環。多くの人を呼び込み、移住促進につなげようと企画した。



マルシェの会場となる旧御牧原保育園を見る小池さん

東御の有志の会 移住促進へ30日開催 地域に足運び 良さ知ってもらう機会に

同会代表で、2015年に東京から移住した小池淳さん(64)は「遠くに見える山々や農村の景色などが抜群で移住したくなる地域。だが、車を止める場所がなく、通り過ぎてしまうことが多い」と指摘。地域に足を運び、良さを知ってもらう機会をつくりたかったという。

市内外から36ブースが設けられる。16人いる会員が人づてに声をかけ、集めた。旬を迎えるジャガイモやスイートコーンといった地元産野菜の販売に加え、クロックバーガーなどのキッチンカーが出店。布製品や家具の販売もある。

会員による移住相談や不動産業者の物件紹介のブースも設置。新幹線駅で最寄りの佐久平駅まで車で20分ほどで行ける立地もアピールするという。小池さんは「地域の高齢化が進んでいる。移住を増やしながら、農業や風景を守りたい」と話している。

同会は20年12月に結成。ホームページで移住者の声を紹介するなど地域の情報を発信している。マルシェは午前10時～午後2時。

移住 のトリ